

年 組 名前：

## スペイン風邪の体験小説に 菊池寛「マスク」ウェブで

高松市出身の文豪・菊池寛が1918〜20年に流行したスペイン風邪の体験を基に書いた小説「マスク」を、同市の菊池寛記念館がウェブサイトで公開した。30代前半の菊

池が感じた恐怖や、マスク着用を巡る他人とのすれに落ち着かない心持ちを主人公に託した短編。学芸員は「新型コロナウイルス感染が流行する現代にも通じるものがある」と魅力を説明する。

スペイン風邪はウイルスがまだ見つかっていなかったインフルエンザのことで、世界で6億人が感染し数千万人が死亡、日本でも38万人が死亡したとされる。この時期、菊池は感染症に直面した人々の心情を描いた作品を3作発表した。

今回公開した「マスク」は20年7月、文芸誌「改造」に発表された。

心臓が弱く、高熱が出れば助からないと医者に言われ、マスクやうがいと予防にいそ

しむ主人公。街中でマスクを着けている人を「頼もしい」と感じる一方、次第にマスクが煩わしくなってくる気持ちの変化、自分が着用をやめた初夏にマスクを着けた男に遭遇した際の動揺を描く。

他人を気にしながらマスクを着け、同調しない人には非難のまなざしを向ける現代日本人の姿にも重なる。

今回は公開していないが、同時期の作品には、嫌われ者の新聞社員がスペイン風邪で死に、葬式に行きたくない同僚がくじ引きで出席者を決める「簡単な死去」もある。

学芸員の福江成美さん(37)は「体の弱かった菊池は感染症による死を身近に感じていた。優れた洞察力で描かれた小説内の人間模様に触れてほしい」と話した。

作品は同館を運営する高松市の「おうちでまなぶ菊池寛」のページからダウンロードできる。

(2020年9月23日付 山梨日日新聞 9面)

### 問1

文豪・菊池寛も体験したスペイン風邪は、西暦何年ごろ流行したのですか。

### 問2

スペイン風邪によって、「世界で①人が感染」、「世界で②人が死亡」、「日本では③人が死亡」とされるのか、①②③にそれぞれ数字を入れてください。

①

②

③

### 問3

作者は小説「マスク」の中で、自身のどんな思いを主人公に託したのか、書いてください。